



## シンガポール・チャンギ便り Part.1

～SHN ～中に思ったこと \*My 三大プレッシャー \*チャンギ校の様子 (オンラインを通じて) ～

こんにちは。

ホテルは政府指定ということもあり、ROYAL PLAZA ON SCOTTS という巷では5つ★のホテルで快適に過ごさせていただいている。

ただ、やはり隔離ということ、毎日政府へ健康状態をアプリを使って報告し、政府からは毎日(多い時は3回)、確認の連絡が入ります。

11名の仲間と毎日LINEを使ってやりとりし励まし合いながら、入国してからの手続き、文科への諸手続き、派遣先のチャンギ校の先生たちとの学年会、引き継ぎ、会議、ICT研修と毎日オンラインで行っているところで、様子が見えない中、気持ちだけ焦りつつ、寝る時はへとへと。毎日、乗り切っている、といった感じです。早く普通の生活がしたいですし、チャンギの子どもたちに会いたいです…！！

またここチャンギは、児童は元より先生方も多いので、授業はもちろん、打ち合わせや提出書類全般が全て(学級通信も紙は×)Chromebookのclassroomやcurrents(カレンツ)というのを使って行われており、ICTができないとチャンギにはついていけない様子です。ICTが苦手な私は、担当の先生がいらっしゃるのでとにかく放課後残ってでも、聞いて学んで身に付けて、ついていかなければなりません。(プレッシャー①)

私が2月の半ばに、本校の校長先生より仰せつかった人事は、3年生(4クラス)の学年主任です。(プレッシャー②)

シンガポールは、多民族国家、多様な文化をあわせ持つ国だけに、グローバル人材育成の指定校にもなっており、その一環として国際理解教育にも力を入れているとのこと。こちらに来て教務主任からいただいた組織表では、その主任にもなっていました…。(プレッシャー③)

チャンギ校では、年に3回、先生たちに呼びかけて、マレーシア・インド・中国の民族衣装を着て、子どもたちをお出迎えし、一日を過ごす「民族衣装デー」が設定されています。しかも、自前で用意しなくてはいけないことを知り、とってもびっくりしました。今年は5月13日の「ハリラヤプアサ」というイスラムのお祝いの日に向け、民族衣装のお買い物から始まりそうです…。(得意分野^^) インドの日には、ステキなサリーを着て、子どもたちをお出迎えしよう…そう心に決めました…！



私が感動したことがあります。

それは、受入委員会の先生方(お世話係)のご奮闘ぶりです。年度末業務、新年度業務で大変な中、ここまで気を使い1年目の私達への業務をこなしある世話をしてくださいとの感謝が溢れますし、次は私達がしっかりさせていただかなければ、というすでにプレッシャーの中にいますが、日本人学校の素晴らしい、よき伝統みたいなものを感じ、とっても感動しています。

先輩たちは、このような体験を一つ一つされてきたのですね…！日本人学校の伝統、先輩たち、ほんとうにステキですね！

そんな中、シンガポールでの新居も決まり、本契約を委員会を通じて行いました。淡路島と同じ面積に人口570万ほどですから、ほとんどが高層マンション(コンドミニアム)で家賃は30万前後です。私は、比較的チャンギ小学校に近い、コンドに決まり、プールが付いている！と噂を聞いています…あまり期待せず楽しみにしています。

(単身の女性先生が6人いてみんなここ周辺  仲良くしています)

また、日本を発つ前、元柳町小教頭先生であった現・笠松校長先生に次の貴重なアドバイスをいただきました。

☞

- ① 水をいっぱい飲んで汗を出す体づくりをすること。  
(北海道では毛穴がふさがってしまっているから。暑い国だから汗をとにかく出す。)
- ② 気力、体力を保つためにも、我慢してでも3食のご飯はしっかり食べること。
- ③ 1年目は、とにかく大人しくして、様子を見ること。

※③は、相当な努力が必要だと自覚しておりますが、しっかりがんばります。

①・②は約束をしっかり守り、毎日実践できていますよ～。隔離のホテルでしっかり飼育され、ぶくぶく成長しています。

まだ外界には出ていませんが、赤道直下の過酷な中で生き抜く、とても大切なアドバイスだと感じています。パナマでの貴重なご体験からもとづくご指導をいただき、ありがとうございました！

今回はこの辺でシンガポール便りを終えたいと思います…。

ご一読いただきありがとうございました。(次回は、来年になりそうです☺)



シンガポール日本人学校チャンギ校 佐藤 紀子

